

令和2年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 歴史博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 ≥ 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 ≥ 80%)	△
	未達 (目標値 < 80%)	×

○全館共通項目

	取組の内容		自己点検		
	1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	
	※「1年間の目標値」欄下部の番号は当館個別評価の対応箇所		※新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等が「達成値」へ大きな影響を与えた項目については「達成度」を「-」とした		
			※ () は「1年間の目標値」に対する達成率	課題・対応の方向	
利用状況	利用者満足度	<p>90%</p> <p>(かながわブランドデザイン第3期素案PJ14の指標(県立社会教育施設利用者満足度2022年度90%)を参考とした目標値)</p> <p>・対面アンケートを含む来館者アンケートを実施し、意見を活用して改善を行う。</p>	<p>98.3% (109.2%)</p> <p>※R2年度の当館満足度総計のうち、「満足」「どちらかといえば満足」の合計</p> <p>【参考：アンケート回答者数】 R元年度：1,953 R2年度：1,189</p>	○	<p>・新型コロナの感染状況等を注視しつつ対面アンケート等、来館者のよりリアルな声を収集できる方法も活用し、当館への様々な意見を収集・検討・反映するよう努め、充実した展示や講座等を企画・実施していくことで利用者満足度の維持を図る。</p>
	入館者	<p>(R1実績) 113,300人</p> <p>※ 新型コロナの影響が大きかったR1実績で仮置き</p> <p>・集客力ある展覧会や各種事業の実施</p> <p>【参考：入館者数】 H27年度：178,873 H30年度：121,415 R元年度：113,331</p>	<p>34,108人 (30.1%)</p> <p>※新型コロナの影響による臨時休館</p> <p>①令和2年4月1日～6月7日 (休館開始は3月4日)</p> <p>②令和3年1月12日～3月31日 (3月23日以降は事前予約をした方に限り入館)</p>	-	<p>・計5か月近くに及ぶ2度の臨時休館で開館日数が180日に止まり、特別展等の中止及び会期短縮、各種講座等の中止、学校団体利用の急減などにより目標値とした前年度実績を大きく下回る結果となった。</p> <p>・新型コロナの状況から、広報により来館を誘引する難しい面がある。</p> <p>・引き続き、充実した魅力ある展覧会・講座等を企画・実施する。</p>

教育・普及事業への参加者	7,700人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座・講演会等</td> <td>24</td> <td>1,610</td> </tr> <tr> <td>展示解説</td> <td>61</td> <td>1,220</td> </tr> <tr> <td>体験教室・見学会</td> <td>22</td> <td>755</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムコンサート</td> <td>2</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムミッション</td> <td>1</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>学んでたのしむはくぶつかん</td> <td>1</td> <td>560</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>111</td> <td>5,985</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>15</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>125</td> <td>7,685</td> </tr> </tbody> </table>	行事名	件数	参加者数	講座・講演会等	24	1,610	展示解説	61	1,220	体験教室・見学会	22	755	ミュージアムコンサート	2	140	ミュージアムミッション	1	1,700	学んでたのしむはくぶつかん	1	560	計	111	5,985	出張講座	15	1,700	総計	125	7,685	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>件数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座・講演会等</td> <td>8</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>展示解説</td> <td>11</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>体験教室・見学会</td> <td>7</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムコンサート</td> <td>1</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>ミュージアムミッション</td> <td>中止 (WEB開催)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学んでたのしむはくぶつかん</td> <td>中止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>672</td> </tr> <tr> <td>出張講座</td> <td>10</td> <td>1,078</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>37</td> <td>1,750 (22.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 ※上記開催できた行事は、新型コロナウイルス関連による休館及び感染拡大防止のため中止としたものを除いた令和2年9月～12月の間に開催した行事 ※9月以降に開催できた行事も感染対策として定員を減らして開催</p>	行事名	件数	参加者数	講座・講演会等	8	276	展示解説	11	317	体験教室・見学会	7	56	ミュージアムコンサート	1	23	ミュージアムミッション	中止 (WEB開催)		学んでたのしむはくぶつかん	中止		計	27	672	出張講座	10	1,078	総計	37	1,750 (22.8%)	<p>—</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により88件(目標参加者数4,318名分)の行事等を中止とした。また、開催できた行事も感染対策として定員を減らしたため目標値に対する達成率が大幅に低くなった。</p> <p>・今後は、魅力ある講座・講演会、体験教室等を企画・実施するとともに、来館によるリアルな講座開催が困難となる場合に備え、オンライン開催も検討することとする。</p>
	行事名	件数	参加者数																																																													
	講座・講演会等	24	1,610																																																													
展示解説	61	1,220																																																														
体験教室・見学会	22	755																																																														
ミュージアムコンサート	2	140																																																														
ミュージアムミッション	1	1,700																																																														
学んでたのしむはくぶつかん	1	560																																																														
計	111	5,985																																																														
出張講座	15	1,700																																																														
総計	125	7,685																																																														
行事名	件数	参加者数																																																														
講座・講演会等	8	276																																																														
展示解説	11	317																																																														
体験教室・見学会	7	56																																																														
ミュージアムコンサート	1	23																																																														
ミュージアムミッション	中止 (WEB開催)																																																															
学んでたのしむはくぶつかん	中止																																																															
計	27	672																																																														
出張講座	10	1,078																																																														
総計	37	1,750 (22.8%)																																																														
インターネットアクセス	(R1実績) 1,304,000件	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの安定的な管理運用を行う。 ・ホームページの適宜更新を行い、最新のわかりやすい情報提供に努める。 	1,256,464件 (96.4%)	<p>△</p> <p>・システムの安定的な管理運用を継続し、ホームページで最新のわかりやすい情報の提供に努めるとともに、「おうちでかながわけんぱく」等の新規コンテンツの充実を図り、アクセス件数の増加を目指す。</p>																																																												
資料・収蔵品	活用 (特別利用) (H27,30,R1 3か年平均) 230件 590点	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料の特別利用について、申請者に適切な指導を行い、事務手続を円滑に遂行する。 <p>【参考】 3か年平均：233件、586点 H27年度：260件、617点 H30年度：213件、543点 R元年度：225件、597点</p>	231件 (100.4%) 588点 (99.7%)	<p>△</p> <p>・引き続き、申請者とのコミュニケーションを円滑に行い、事務手続を滞りなく遂行する。</p>																																																												
	(常設展示室における展示) 約1,400件	<ul style="list-style-type: none"> ・再開館当初の展示資料数約900件をベースに、年7日設けられた常設展のための資料整理休館日を活用して約500件を入れ替え紹介する。(ただし、このほかに特別展に展示する館蔵資料もある。) 	1,402件 (100%)	<p>—</p> <p>・臨時休館により、随時行っている展示替えの一部が実施できなかったが、実績は目標値を達成できた。</p> <p>・引き続き、積極的な展示替えを継続し、トピック展示、特別展やコレクション展の関連資料展示など、各テーマで工夫を加えて、より魅力ある常設展を目指していく必要がある。</p>																																																												

	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的要因を除く毀損（汚破損）の防止。 ・計画的な資料修繕。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IPM（総合的害虫管理）を継続する。 ・資料受け入れ時に適切な保存処置を行う。 ・必要に応じて薬剤燻蒸を実施する。 ・収蔵庫及び展示ケース等の環境調査を定期的に行う。 ・修繕計画の見直しを行い、順次実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料や借用資料の炭酸ガス燻蒸（2回）、環境調査（2回）、収蔵庫と展示室内の空気質調査（1回27か所）等をおこなった。 ・環境調査（昆虫類生息調査・鼠族生息調査・微生物生息調査）を年2回行った。 ・収蔵庫と展示室に温湿度計を設置して、データを記録した。特別展「相模原流域のみほとけ」に国指定重要文化財が7件出品されたため、別に温湿度を計測した。 ・Wi-Fi データロガーを5個購入した。 ・計画に基づき、修繕を遅滞なく実施した。 ・収蔵庫や執務室等の定期清掃を9回おこなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫の空調機や加湿器の不調が相次いだため、機器の定期的なメンテナンスを行うことが重要である。 ・修繕計画に記載した資料から優先順位をつけて修繕しているため、関連資料群の一括修繕は難しい状況にある。当初の計画策定から時間が経っていること、また、まとまりのある資料群の修繕が進捗しつつあることから、計画の見直しを進める必要がある。
調査研究	研究成果の公開（発表・印刷物等）	<p>（常勤学芸員14名×5件、非常勤学芸員2名×4件）</p> <p>78件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費助成事業等の研究助成も積極的に活用し、研究論文・展示・各種講座等により、研究成果の幅広い発信に努める。 	131件（168%）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究活動のさらなる充実には、研究費の確保と研究環境の整備が課題となる。 ・今後も外部研究資金の積極的な獲得により、研究のクオリティを保っていく。
情報発信	事業情報の発信	<p>（H27,30,R13か年平均）</p> <p>730件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HP（ツイッター含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信 <p>【参考：発信数】 3か年平均：733件 H27年度：564 H30年度：832 R元年度：804</p>	<p>643件（88.1%）</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP 367件（ツイッター354、おうちでかながわけんぱく10、特別展特設サイト2、ミュージアムミッション特設サイト1） ・チラシ・ポスター10件（特別展8、特別陳列2） ・催し物のご案内1件 ・博物館だより3件 ・その他262件（新聞84、雑誌47、テレビ34、ラジオ3、WEB89、その他5） 	<ul style="list-style-type: none"> ・2度の臨時休館など、新型コロナの影響により、来館を誘引する従前と同様の広報活動ができなかった。 ・今後は感染状況等により当館に来館できない場合も想定し、新規コンテンツ「おうちでかながわけんぱく」等のオンラインでの情報発信も強化していく必要がある。 ・また、新聞・テレビ等のマスメディアへの露出機会を増やすために、メディア各社へのタイムリーできめ細やかな情報提供を継続していく。
施設運営等	観覧料収入及び施設等収入	<p>（H2予算書の収入積算額）</p> <p>23,290千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者増につながる展覧会の開催など各種事業の実施 	12,597千円（54.1%）	<ul style="list-style-type: none"> ・2度の臨時休館が収入目標未達の要因である。目標達成には、新型コロナ対策に万全を期した上で、充実した魅力ある展覧会等を継続的に実施していく必要がある。
	施設点検	高齢の来館者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・展示解説の読みやすさや館内の休憩スペース等高齢者の視点に沿った点検を行う。 	・グラフィックペル12枚更新	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、グラフィックペルの更新を計画的に実施するとともに、他の懸案の解消に努める。

自己研鑽及び他館の研究	文化庁等関係が実施する研修に積極的に参加し、専門能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、各学芸員の専門能力を高めるための研修参加や他館の研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、文化庁等主催の研修会はすべて中止となった。 ・日本博物館協会が主催する第68回全国博物館大会が横浜で開催されたことから、分科会のパネラー等として参加した。 ・東京文化財研究所が開催した、過去の保存担当研修の修了者向けの照明器具に関するセミナーに参加した。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、新型コロナの状況下において開催される研修会・セミナー等があれば、積極的に参加し、学芸員としての資質の向上を図っていきたい。
-------------	-----------------------------------	---	--	---	--

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。